

平成26年10月 東京地区百貨店売上高概況

平成26年11月19日

I. 概況

1. 売上高総額	1,232億円余
2. 前年同月比	-0.1% (3か月ぶりマイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭0.3%(90.6%) : 非店頭-3.5%(9.4%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 25店 (平成26年9月対比±0店)
5. 総店舗面積	855,076㎡ (前年同月比:-2.3%)
6. 総従業員数	18,940人 (前年同月比:-1.0%)
7. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	3-5月 4.3%、4-6月 -6.3%、5-7月 -3.2%、 6-8月 -1.6%、7-9月 0.0%、8-10月 0.5%

[参考] 平成25年10月の売上高増減率は1.2% (店舗数調整後)

【10月売上の特徴】

- (1) 東京地区の入店客数は、全国同様に2つの台風の影響を受けたものの、地方物産展や各種セール催事などの集客施策を積極展開したことで、前年並みの水準に収まった。
- (2) 主力の衣料品(-0.4%)は、天候不順の影響で僅かに前年割れとなったが、紳士(+3.6%)については、スーツ・コート等の重衣料を中心に好調であったほか、婦人(-1.7%)についても、下旬からの気温低下に伴い季節商材に動きが見られた。
- (3) 4か月連続で前年をクリアした化粧品(+12.9%)については、10月からの免税制度改正で、新たに対象品目となった効果などを背景に二桁増を記録。従来の好調な流れに、制度改正による効果が上積みされた結果と分析できる。
- (4) 家庭用品(+1.2%)は、消費税率引上げ後初めて前年実績を上回った。外商による大口受注などから、家電(+26.5%)が大幅増となったことが寄与している。
- (5) 東京地区の11月中間段階(11月16日)までの商況は、前年比1%強のマイナスで推移している。

【要因】

- (1) 営業日数増減 31.0日 (前年同月比±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数18店舗)
①増加した: 8店、②変化なし: 4店、③減少した: 6店
- (3) 10月歳時記(体育の日、旅行シーズン)の売上 (同上/有効回答数10店舗)
①増加した: 2店、②変化なし: 8店、③減少した: 0店

東京地区百貨店 売上高速報 2014年10月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%)
総 額	123,268,526	100.0	-0.1
紳士服・洋品	13,088,440	10.6	3.6
婦人服・洋品	27,242,752	22.1	-1.7
子供服・洋品	2,260,902	1.8	1.5
その他衣料品	2,456,838	2.0	-7.3
衣 料 品	45,048,932	36.5	-0.4
身のまわり品	17,274,323	14.0	0.9
化粧品	7,484,917	6.1	12.9
美術・宝飾・貴金属	7,293,369	5.9	-8.1
その他雑貨	5,669,279	4.6	-0.5
雑 貨	20,447,565	16.6	0.9
家具	1,603,457	1.3	-3.1
家電	1,102,441	0.9	26.5
その他家庭用品	4,001,930	3.2	-2.5
家庭用品	6,707,828	5.4	1.2
生鮮食品	4,481,515	3.6	-2.7
菓子	6,875,649	5.6	1.8
惣菜	6,960,189	5.6	2.1
その他食料品	7,822,279	6.3	-3.2
食 料 品	26,139,632	21.2	-0.5
食堂 喫茶	2,980,664	2.4	-0.9
サ ー ビ ス	2,335,656	1.9	-1.1
そ の 他	2,333,926	1.9	-7.9

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。
本統計には消費税は含まれておりません。

		対前年増減(-)率 (%)
商品券	2,278,622 千円	0.4
従業員数	18,940 人	-1.0
店舗面積	855,076 m ²	-2.3
営業日数	31.0 日	前年 31.0 日

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、身のまわり品が4か月連続、雑貨が2か月ぶり、家庭用品が7か月ぶりのプラスとなった。また、衣料品、食料品はマイナスとなった。紳士服・洋品、子供服・洋品、化粧品が4か月連続、菓子、惣菜が3か月連続、家電が2か月ぶりのプラスとなった。その他では、先月よりその他雑貨と家具のマイナス幅が縮小した。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-0.1	—	3か月ぶりマイナス
紳士服・洋品	3.6	0.4	4か月連続プラス
婦人服・洋品	-1.7	-0.4	2か月ぶりマイナス
子供服・洋品	1.5	0.0	4か月連続プラス
その他衣料品	-7.3	-0.2	2か月連続マイナス
衣料品	-0.4	-0.1	3か月ぶりマイナス
身のまわり品	0.9	0.1	4か月連続プラス
化粧品	12.9	0.7	4か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	-8.1	-0.5	7か月連続マイナス*
その他雑貨	-0.5	0.0	2か月連続マイナス*
雑貨	0.9	0.2	2か月ぶりプラス
家具	-3.1	0.0	7か月連続マイナス
家電	26.5	0.2	2か月ぶりプラス
その他家庭用品	-2.5	-0.1	3か月ぶりマイナス
家庭用品	1.2	0.1	7か月ぶりプラス
生鮮食品	-2.7	-0.1	7か月連続マイナス*
菓子	1.8	0.1	3か月連続プラス*
惣菜	2.1	0.1	3か月連続プラス*
その他食料品	-3.2	-0.2	7か月連続マイナス*
食料品	-0.5	-0.1	2か月連続マイナス
食堂喫茶	-0.9	0.0	7か月連続マイナス
サービス	-1.1	0.0	2か月連続マイナス
その他	-7.9	-0.2	3か月連続マイナス
商品券	0.4	0.0	2か月連続プラス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・西田まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>